ご卒業おめでとうございます！

まちを支える人づくり　スペシャリストへの道
龍野北高校新聞
～地域と協働する、明るい活力のある学校～

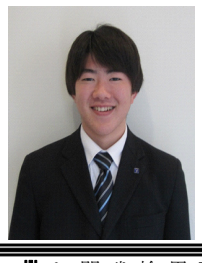
全日制課程

電気情報システム科　電気類型　津田　悠斗

龍野北高校での３年間は、部活や授業などで多くのことを体験し、学び、飽きることのない充実した日々を過ごすことができました。私自身、特に部活動に力を入れており、男子バドミントン部に所属し、日々技術の向上に努めてきました。

入部したばかりの頃は、上手くいかないことの連続で大変でしたが、先生やチームのみんなに助けてもらい、お互い高め合っていきました。その結果、西播大会で優勝し、県大会に出場することができました。

勉強面では、実習を通して専門的な技術を学び、自分たちの手で回路の製作、計測を体験しました。教科書通りにならず苦戦する場面では、班員とともに原因を探り、ひとつひとつ解決していくことで、自主性と問題解決力、協調性を身に着けることができました。龍野北高校での生活は、僕の人生にとってかけがえのない時間となりました。新しいことにチャレンジし、たくさんの先生や仲間と出会うことで、大人に近づけた気がします。この高校生活で結ばれた縁を大切にして、今後の人生に活かしていきたいと思います。



総合福祉科　介護福祉類型　竹内　綾華

三年間の学校生活で特に印象に残っているのは、総合福祉科での学びと、仲間と共に努力した時間です。

実習では、利用者一人ひとりに寄り添うことの難しさを感じ、思うように行動できず悩むこともありました。しかし、その経験を通して、相手の立場に立って考える大切さや、支えることの責任を学びました。また介護技術コンテストでは、仲間と何度も練習を重ね、全国大会優勝という結果を残すことができました。

この経験から、努力を積み重ねることの大切さと、仲間と協力する力を身につけました。そして、介護福祉士国家試験では、クラス全員合格という目標に向かって日々勉強に励み、互いに支え合いながら最後までやり抜くことができました。三年間のこれらの経験は、私にとって大きな成長につながったと思います。

この高校生活で成長したところを大切にしながら、大学でも成長できるよう頑張りたいと思います。

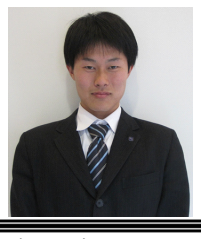
総合福祉科　医療福祉類型　勝原　楓灯

高校生活で私は様々なことを学びました。特に私は、勉強と部活動の両立するよう努力しました。

私はサッカー部だったのですが、部活動では周りを見て練習の準備や片付けをしたり、声かけをしたりしました。時には中々技術が上達せず、思い悩むこともありましたが、チームのみんなに支えられ、乗り越える事ができました。良い結果は残せませんでしたが、最高のチームでした。

勉強面では、苦手意識があり、今まであまり努力してこなかったため、最初はあまり良い点数を取れませんでした。そのため沢山勉強をしました。特に苦手科目に関しては、予習を行い、テスト対策も徹底的にしてきました。そのおかげで、三年生のテストでは良い点数を沢山取る事ができました。

私はこの高校生活の中で様々な経験をし、良い仲間、先生に出会えました。龍野北高校に入学し、大きく成長したと思います。この出会いを忘れずになりたい自分になるために、今後も精進していきたいと思います。



電気情報システム科　情報類型・商業　松本　明樹

私はこの３年間が、今までの人生で一番充実していたと感じています。

はじめは勉強と部活動の両立ができるのかを不安に思う状態からのスタートでしたが、資格を多く取得することができる商業系を選択しました。

入学当初はなにもわからない状態でしたが、限られた時間で原価計や、財務会計、ソフトウェア活用など、多くのことを学びました。検定が近づくと、放課後に学校に残り先生にわからないところを質問したり、家で夜遅くまで勉強をしたり、その甲斐もあって多くの資格を取得することができました。

部活動では、怪我で挫けそうになった時でも、諦めず仲間と助け合いながら活動を続けました。その経験から、仲間と協力することの大切さ、諦めないことの大事さを知ることができました。

この３年間がここまで充実していたのは、目の前のことに一生懸命取り組んだことや、私に関わってくれた人達のおかげだと思います。龍野北高校で学んだことを活かし、これからも感謝を忘れずに、何事にも全力で楽しみながら頑張っていきます。

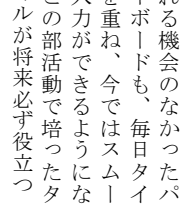
電気情報システム科　情報類型・情報　岡本　航

私が龍野北高校に入学したときは、家から遠い場所だったこともあり、知り合いがあまりいない状態からのスタートでした。しかし、仲の良い友達が自然とできて、毎日の学校生活を楽しく過ごすことができました。

私がこの高校生活で最も力を入れてきたのは、部活動です。ビジネスライセンス部に入部するまではあまり触れる機会のなかったパソコンのキーボードも、毎日タイピング練習を重ね、今ではスムーズに文字の入力ができるようになりました。この部活動で培ったタイピングスキルが将来必ず役立つと信じています。

３年生になってからは、昨年から引き継いで、課題研究でＶＲコンテンツの制作を行いました。最新の機器に触れて、これから発展していく分野について学ぶことができました。

いまだに高校生活が終わってしまう実感が湧きません。あっという間の３年間でしたが、経験してきたことを活かしてこれからも頑張っていきたいと思います。



総合デザイン科　プロダクトデザイン　高坂　歩実

私は将来の夢がない状態で入学したので、三年間で進路が決まるか、勉強についていけるかとても不安でしたが、実習や現場見学を通して知識が身につくに度に、建築への興味が深まり、製図の面白さにも気づくことができました。

また、製図は個人でやるものだと思っていましたが、実際は、心が折れそうになった時、仲間の存在に助けられ、その大切さを改めて実感しました。

部活動では高校からバドミントンを始め、二年生でキャプテンをまとめる難しさや熱量の違いに悩む日も多くありました。しかし、先生や友達の支えもあり、自分なりのチーム作りで最後までやり抜き、総体で力を出し切ることができました。

四月から専門学校の学生になります。この三年間でできた思い出と学び、人との繋がりを大切にし、将来に活かしていきたいです。

総合デザイン科　アートビジュアルデザイン　高橋　未奈

私の高校生活は、今までの人生の中で一番濃い時間だったと思います。専門教科、一般教科の学習に加えて、ファッションショーで係のリーダーや町ぢゅう美術館の運営委員長、そして放送部の部長を務めたりと、目が回るほど忙しい日々でした。私は中学生の頃は「うまくいかないかも」と挑戦することを避けていましたが、高校では「とりあえず一度やってみる」ことを目標にしていました。次第に苦手だったコミュケーションも自然に出来るようになり、友達が増えたことで視野が広がり多角的な視点で物事を考えられるようになりました。

総合福祉科　介護福祉類型　三木　愛友那

僕の高校生活は、部活動一色でした。毎日の練習はとてもキツく、厳しい言葉をかけられることもあり何度も辞めたいと思うことがありました。土日も試合や練習があり、みんなが遊んでいる間も自分は野球をしていて、野球に捧げる三年間だったと思います。

３年の春くらいからピッチャーをメインに任せてもらうことが多くなり、春の大会では対戦校を２安打に抑えることができ、自分でも上手く投げる感覚を掴むことができました。

しかし、夏の大会の２週間前に足を怪我してしまい、まともに投げられる状態では無くなってしまいました。辛くて心が折れかけた時にチームメイトやマネージャーからの励ましの言葉を貰い、完治とまでは行かなかったのですが、最後の試合はマウンドに上がることができました。悔いがないといえば嘘になるのですが、マネージャーを合わせてこの７人で野球ができてよかったと心から思いました。

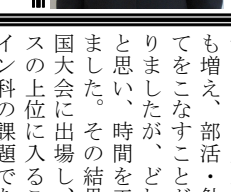
卒業後は消防士になり、きついこともあると思うけれど、仲間と支え合いながら多くの人の命を救っていきたいと思います。

総合デザイン科　プロダクトデザイン　高坂　歩実

私が高校生活で頑張ったことは、部活動と勉強を両立させ、総合デザイン科の課題にしっかりと取り組むことです。文武両道を目標にワクワクした気持ちで入学しましたが、部活動は想像以上に厳しく、慣れるまでは自分の時間を作るのが難しい毎日でした。二年生で新チームになってからはプレッシャーも増え、部活・勉強・課題のすべてをこなすことがさらに大変になりましたが、どれも諦めたくないと思い、時間を工夫して取り組みました。その結果、部活動では全国大会に出場し、勉強面ではクラスの上位に入ることができ、デザイン科の課題であるポスターでも複数の賞を取ることができました。

これらは、部活の仲間や先生方、友達に恵まれ、支えてもらったからこそ成し遂げられたことだと思っています。また、部活や勉強、課題を三年間頑張ったことで、忍耐力と継続力を身につけ自分自身大きく成長できました。

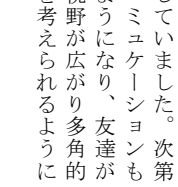
これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、良い報告ができるように高校生活で身につけたことを活かしながら、卒業後も自分らしく全力で頑張っていきたいです。



総合デザイン科　アートビジュアルデザイン　高橋　未奈

私の高校生活は、今までの人生の中で一番濃い時間だったと思います。専門教科、一般教科の学習に加えて、ファッションショーで係のリーダーや町ぢゅう美術館の運営委員長、そして放送部の部長を務めたりと、目が回るほど忙しい日々でした。私は中学生の頃は「うまくいかないかも」と挑戦することを避けていましたが、高校では「とりあえず一度やってみる」ことを目標にしていました。次第に苦手だったコミュケーションも自然に出来るようになり、友達が増えたことで視野が広がり多角的な視点で物事を考えられるようになりました。

リーダー等を務める際は、どうすれば楽しく制作作業をチームで取り組めるかを一番に意識していました。しかし、自分だけの力だけでは乗り越えられない壁も多く、友達からのたくさんの励ましやアイデア、先生からのアドバイス、後輩の意見など、多くの人に支えられて行事を成功させることができました。なにより、龍野北高校の先生方が生徒の「こうしたい」という願いを聞き入れて、安心して挑戦できる環境を作ってくださっていたことを改めて実感しています。３年間ありがとうございました。



令和８年２月２５日（水）発行
卒業生号
兵庫県立龍野北高等学校
Tel　0791-75-2900
Fax　0791-75-2296

定時制課程

三修制　久保　駿

入学当初は新しい生活にわくわくしていました。中学校では勉強を全くしていなかったので、高校では勉強を頑張ろうと思い入学しました。一年生では資格や高校卒業認定試験にも合格しました。しかし、二年生の時に友達が学校を辞めてしまい、僕の学校へのモチベーションが下がってしまいました。三年生になって、このままではよくないと思い、生徒会副会長になり、龍北工房の工房長にもなりました。部活動とアルバイトも頑張るようになりました。生徒のみんなが毎日学校生活を楽しく送れるように、生徒会役員の人たちと工夫し、工房や生徒会活動に取り組みました。工房長としては、工房の広報動画や、チラシを作り宣伝に力を入れました。多くの人に来てもらい、仕入れた商品も喜んでもらえて嬉しかったです。

三年間を振り返ると、あっという間でした。あの時、もう一度頑張ろうと決意してよかったです。四月から社会人なので、頑張って成長した姿を、支えてくれた親や先生方に見せたいです。

看護科　田中　歩那

私はこの学校に入学したとき、看護師になるための勉強ができることを、とても楽しみに思っていました。それと同時に、実習などの今まで経験したことのないことへの不安な気持ちもありました。また、クラスの人たちとうまくやっていけるか心配でしたが、授業の中のグループワークや実習で一緒に学んだり、体育祭や龍北祭などの行事で楽しんだりすることで仲が深まっていきました。

学校行事は、体育祭ではクラスで一致団結して二度優勝したり、龍北祭では歌って踊ったり、模擬店やプラネタリウムを作ったりして楽しむことができました。

実習では、先生方や施設の指導者さんにたくさんご指導いただき、仲間と助け合いながら、よりよい看護を考え、実施することができました。

この３年間、担任の先生に支えていただきながら成長することができました。４月から、専攻科でこれまでより多くの実習や看護の勉強をしていくので、何事にも今まで以上に全力で取り組み、よい看護師になれるよう頑張っていきたいと思います。

四修制　福島　芽依來

保育園から中学校までずっと同じメンバーという環境で過ごしてきた私にとって、入学当初の定時制はとても怖い場所でした。しかし、私の想像とは違い、クラスの人たちは話してみると、みんないい人ばかりで、男女共に面白く、次第に定時制の良さに気づくことができました。新しい友達もできました。私を受け入れ、優しく接してくれた大切な友達です。私はその友達といろいろな思い出を作ることができました。

しかしかし、四年生になって友達が退学してしまいました。「自分も辞めてしまいたい」と思うくらい不安な日々を過ごす中、「このままでは前に進めない」と思い、いろいろな先生方と積極的にコミュニケーションを取るようにしました。先生方に悩みを聞いてもらうことで心も軽くなり笑顔も増えていきました。

私の悩みを親身に聞いてくださった先生方には感謝してもしきれません。私も将来、先生方のような大人になれるように頑張ります。